

たいし

第156号

発行／太子町議会 編集／議会広報特別委員会

議会だより

臨時会 新しい議会構成決まる

p 1 ～ p 4

平成28年 9 月定例会で決まったこと

p 5 ～ p 9

4 議員が 町政を問う (一般質問)

p 10 ～ p 12

議会のうごき

p 12



監査委員
森田 忠彦



副議長
村井 浩二



議長(第42代)
山田 強

就任あいさつ

平成28年11月1日に第2回臨時会が招集され、正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任が行われました。

新しい議会構成決まる



住民の皆様には日ごろから、町議会に對しまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、11月1日の臨時会におきまして議長、副議長、監査委員に就任致しました。まことに光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、多くの市町村では、急速な少子高齢化や人口減少社会への対応が大きな課題となっており、国において『地方創生』が掲げられるなか、太子町においても「定住人口」の減少に歯止めをかける戦略を打ち出すなど、今後の進むべき道を切り開いていくことが大切です。

議会といたしましても、誰もが、いつまでも安心して暮らし続けていただける太子町のまちづくりに、より一層取り組み、地方創生の時代にふさわしい、地方自治のあり方をめざすとともに、住民の皆様との連携を密にし、町政の発展に向け、努力してまいります。

今後とも、皆様方のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第16期太子町議会議員 メンバー11人の紹介



羽山 茂男

山田2979

Tel.98-0579

公明クラブ



中村 直幸

山田823-115

Tel.98-3566

太政クラブ



辻本 馨

山田3172

Tel.98-3585

ふたかみ会



村井 浩二

山田461-1

Tel.98-3122

ふたかみ会



阪口 寛

春日98-181

Tel.98-2199

日本共産党



西田 いく子

春日98-429

Tel.98-1655

日本共産党



寺町 幸雄

太子618

Tel.98-2798

政友クラブ



森田 忠彦

山田2880

Tel.98-0022

政友クラブ



田中 祐二

春日1435-5

Tel.98-4532

政友クラブ



建石 良明

山田3655-2

Tel.98-5014

政友クラブ



山田 強

春日1752

Tel.98-0863

政友クラブ

議席順に
紹介しています



常任委員会

総務まちづくり 常任委員会

所管は、総務部・まちづくり推進部・会計課・議会事務局に関する事項

委員長

寺町 幸雄

副委員長

阪口 寛

委員

羽山 茂男

辻本 馨

村井 浩二

森田 忠彦

福祉文教 常任委員会

所管は、健康福祉部、教育委員会に関する事項

委員長

中村 直幸

副委員長

建石 良明

委員

西田いく子

副委員長

村井 浩二

委員

村井 浩二
西田いく子
森田 忠彦
田中 祐二

予算常任委員会

所管は、一般会計の予算（補正予算も含む）に関する事項

委員長

羽山 茂男

副委員長

辻本 馨

委員

中村 直幸

村井 浩二

阪口 寛

西田いく子

寺町 幸雄

森田 忠彦

田中 祐二

建石 良明

決算常任委員会

所管は、一般会計の決算に関する事項

委員長

村井 浩二

副委員長

西田いく子

委員

羽山 茂男
中村 直幸
辻本 馨
阪口 寛
寺町 幸雄
田中 祐二
建石 良明

議会運営委員会

議事日程や運営などを協議

委員長

田中 祐二

副委員長

建石 良明

委員

中村 直幸

辻本 馨

阪口 寛

寺町 幸雄

広報特別委員会

『議会だより』の作成、発行

委員長

西田いく子

副委員長

村井 浩二

委員

羽山 茂男

森田 忠彦

田中 祐二

山田 強

組合議会議員

南河内 環境事業組合

田中 祐二



1階に飾られる聖徳太子像

会派構成

◎ 幹事長
○ 副幹事長

「会派」とは、議会内に設置された議員の主義主張を同じくする同志的集合体のことをいいます。議長に対して届け出を提出し、認定されます。会派には、公費として政務活動費（一人あたり月額1万円）が交付されます。

政友クラブ

◎ 建石 良明
○ 田中 祐二
森田 忠彦
寺町 幸雄
山田 強

日本共産党

◎ 阪口 寛
○ 西田いく子

ふたかみ会

◎ 村井 浩二
○ 辻本 馨

公明クラブ

◎ 羽山 茂男

太政クラブ

◎ 中村 直幸

都市計画審議会・農業振興整備促進協議会	上水道事業運営審議会	ゴルフ場に関する環境保全協議会
中村 直幸	阪口 寛	羽山 茂男
村井 浩二	田中 祐二	森田 忠彦
田中 祐二	交通事故をなくす運動推進協議会	国民健康保険運営協議会
介護保険事業計画推進委員会	辻本 馨	西田いく子
建石 良明	村井 浩二	建石 良明
人権尊重のまちづくり審議会	寺町 幸雄	健康づくり推進会議
羽山 茂男	山田 強	阪口 寛
表彰審査会	学校給食センター運営委員会	献血推進協議会
森田 忠彦	西田いく子	辻本 馨
人権協会	民生委員推薦会	村井 浩二
寺町 幸雄	中村 直幸	

47万5千469円

[illegible]

各議員の審議結果 ○＝賛成 ●＝反対 ―＝監査委員

7386万9千円

は、どう使われたのか

8万5千円の黒字決算

実質収支も同じく2億1693万184円の黒字

建設が進む太子西条線



新しくなった
聖和台第4公園遊具



9月定例会
きびうとをいふききめまじた

9月定例会は、9月1日から、21日までの21日間にわたり開会されました。
町長より平成27年度一般会計歳入歳出決算認定、ほか選任同意等の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。



【監査意見】(要旨)

歳入51億1595万6千円。歳出48億8437万816円。実質収支額2億1693万184円の黒字決算。

歳入は、府支出金や繰入金減収となったが、地方消費税交付金や地方交付税で増収、普通建設事業に伴う町債、繰越金が増加した。

歳出は、義務的経費で、人件費、扶助費、公債費が増、投資的経費で、防災行政無線の更新、都市計画道路太子西条線の整備、町道維持管理事業などの普通建設事業や物件費や繰出金が増加した。

地方消費税交付金や地方交付税の増収や滞納徴収強化などで前年度並みの税込確保と

なったが、義務的経費などの増で、經常収支比率は90%台、歳入に占める自主財源の比率も4割を下回るなど外的要因に大きく影響を受ける財政状況に変わりはしない。

このような中、扶助費をはじめ、社会保障関係費などの増、生涯学習施設の整備や公共施設の老朽化対策など、多額の財政需要が予想されることから、将来を見据えた計画性のある施策展開と、限られた財源の効率的・効果的な活用を進め、住民サービスへの十分な対応と向上に取り組むことを要望する。

監査委員

池端 繁治
建石 良明

平成27年度 各会計の決算状況

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
一 般 会 計	51億1595万6千円	48億8437万1千円	2億3158万5千円
国民健康保険特別会計	18億1189万1千円	18億39万1千円	1150万円
山田財産区特別会計	507万6千円	298万9千円	208万7千円
春日財産区特別会計	91万1千円	65万9千円	25万2千円
下水道事業特別会計	3億3506万円	3億3506万円	0円
介護保険特別会計	10億8795万3千円	10億5136万8千円	3658万5千円
後期高齢者医療特別会計	1億6689万6千円	1億6186万9千円	502万7千円
水道事業	2億7703万円	2億5618万4千円	2084万6千円
収益的収支			
資本的収支	37万3千円	8097万9千円	△8060万6千円
合 計	88億114万5千円	85億7386万9千円	

※水道事業会計の収益的収支の実質収支は、損益計算書による純利益です。また、資本的収支の差引△8060万6千円は、内部留保資金等により補てんしています。

※小計及び合計は表示単位未満四捨五入のため、各会計の合計と一致しない場合があります。

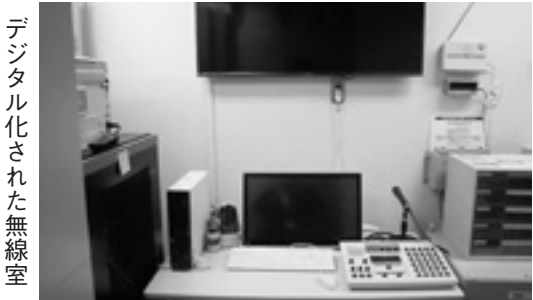
平成27年度 決算認定

総額85億

27年度一般会計2億315

平成27年度 主な実施事業

災害対策事業（防災行政無線更新工事）／太子西条線整備事業／町道維持管理事業（大平橋橋梁修繕他）／庁舎維持管理事業／都市公園維持管理事業（聖和台第4公園遊具設置事業／スポーツ公園維持管理事業（総合体育館空調設備更新工事）／外出支援事業（車両購入）



デジタル化された無線室

一般会計

質疑

問 公務災害補償等認定委員会が開催されたのは。

答 非常勤嘱託職員のけがによる開催があった。

問 町税延滞金額の増加の要因は。

答 大阪府域地方税徴収機構へ徴収業務を委託することとなり、町税滞納分の収納強化により、延滞金の収入の増加につながった。

問 路線価算定、評価替えの状況は。

答 実際の評価替えで、3年間で3・8%、平成26年度～27年度で、1・1%下落の状況である。

問 プレミアム付き商品券発行の効果は。

答 地域経済への効果は、国の算定方法で試算すると、約2千万円の消費喚起があったものと考ええる。

問 学校給食における地産地消の状況は。

答 道の駅、地域の生産野菜や特産物の活用に関心しているが、仕入れ野菜全体の1割程度。今後、必要な仕入れ時期と収穫期を互いに共有・調整するなどして、地産地消の拡充に向けて取り組む。

討論

【反対】 安倍政権のもとと社会保障の切り捨てが一層推し進められている。

本町では、放課後児童会の対象拡大、乳幼児予防接種や「予約型乗合ワゴン事業」の拡充など一定の施策が前

平成27年度 積立金現在高

財政調整基金		15億7290万1千円
減債基金		785万7千円
特定目的基金	退職手当基金	1億4464万8千円
	老人福祉基金	373万3千円
	公共施設整備基金	12億511万6千円
	環境衛生等基金	2962万5千円
	太子まちづくり「夢」基金	3821万8千円
	たいし・ふれ愛福祉基金	2935万7千円
	聖和台污水排水処理施設基金	1415万1千円
	ふるさと太子応援基金	506万8千円
合計		30億5067万4千円

平成27年度 地方債現在高

一般会計	公共事業等債	3172万6千円
	一般単独事業債	5億9476万6千円
	学校教育施設等整備事業債	8億4910万円
	臨時財政対策債	28億4970万5千円
	その他の	4億251万9千円
	合計	47億2781万6千円

進した。一方で国が押し進めるマイナンバー制度を受け入れたため、町の持ち出しが増え続けている。

積立金も30億円を超えている。財政調整基金は15億7290万円ある。一般会計からの繰入金を増やせば、公共料金の引き下げは可能。公共交通の充実、自然と歴史遺産を活かしたまちづくりなど、住民のくらし最優先の町政を求めて反対する。

【賛成】 町税滞納徴収の強化を図り自主財源の確保に努め、国、府の補助金を有効活用するなど、まちの活性化や安全で安心して暮らせるまちづくりの、更なる推進に向けた予算執行がなされている。中でも、防災行政無線のデジタル化や、太子・西条線の整備、橋梁の改修や、公園の遊具更新、小中学校教育用パソコンの更新、観光案内板の設置、プレミアム付き商品券発行による地域経済の活性化など着実に実施した上で、収支黒字を確保したことは、一定の評価に値する。住民ニーズと時代の要請に的確に対応し、更なる創意工夫を重ねられるよう要望して賛成する。

【賛成】 町税滞納徴収の強化を図り自主財源の確保に努め、国、府の補助金を有効活用するなど、まちの活性化や安全で安心して暮らせるまちづくりの、更なる推進に向けた予算執行がなされている。中でも、防災行政無線のデジタル化や、太子・西条線の整備、橋梁の改修や、公園の遊具更新、小中学校教育用パソコンの更新、観光案内板の設置、プレミアム付き商品券発行による地域経済の活性化など着実に実施した上で、収支黒字を確保したことは、一定の評価に値する。住民ニーズと時代の要請に的確に対応し、更なる創意工夫を重ねられるよう要望して賛成する。

ど着実に実施した上で、収支黒字を確保したことは、一定の評価に値する。住民ニーズと時代の要請に的確に対応し、更なる創意工夫を重ねられるよう要望して賛成する。

ど着実に実施した上で、収支黒字を確保したことは、一定の評価に値する。住民ニーズと時代の要請に的確に対応し、更なる創意工夫を重ねられるよう要望して賛成する。



中学校パソコンルーム

国民健康保険

質疑

問 収納対策は。

答 払える能力があるのに払ってない人がいるため、大阪府域地方税徴収機構を活用し、

滞納管理システムを導入して徴収率を上げていく予定。

問 被保険者は減少しているのに給付費が伸びている要因は。

答 被保険者の高齢化や、がん治療薬などの高額なものが保険適用されるなど、一人あたりの年間医療費水準が高額になってきているため、医療費は、今後とも増え続けると予測している。

討論

【反対】 大阪府の国保料は「年間所得200万円の4人家族で48万円」。国保料が住民を苦しめ続けている。

国保の行き詰まりを打開するには、何よりも国庫負担を回復し、加入者負担増につながる府のペナルティをなくすべき。町は、国保料引き下げに一般会計から繰り入れを増やし、

減免制度の充実、一部負担金減免制度を使える制度にすべき。また、無料定額診療事業制度の紹介、健診の推進など病気の早期発見・早期治療、介護予防など健康増進をすすめ、医療費抑制に繋げること

を求め反対する。

【賛成】 経済状況が低迷する中、被保険者の収入減により保険料収入の増加を見込むことは難しい。加入者の高齢化や減少、医療技術の進歩による医療費増など、財政的には厳しい運営状況を強いられ

ている。こうした中、運営努力で黒字決算を保っており一定の評価ができる。健全な運営には、医療費の的確な把握と医療の適正化などによる歳出の抑制、保険料収入の確保は非常に重要。今後も未納者への納付相談、収納率向上に努め、引き続き国保事業の運営が円滑、安定的に行われることを要望して賛成する。

下水道事業

質疑

問 マンホールポンプ点検及び更新工事は、どうなっているのか。

答 施設点検は毎月実施している。

施設更新年月は15年と定め、それに基づいて計画的に行うこととし、27年度は仏眼寺橋ポンプ施設の更新を行った。

問 流域下水道維持管理負担金の増額理由

答 維持管理費が経年劣化のため増加しており、それに伴って増加している。

介護保険

質疑

問 施設介護サービスの利用者が、事業計画を下回っているのは。

答 介護老人保健施設の利用者が減少したため。

問 要支援1、2の介護予防給付が新しい総合事業に移行されるが、来年4月実施に向けての見通しは。

答 町会・自治会を対象に「地域支え合い勉強会」を開催し、来年4月の実施に向けて進めている。

要支援1、2のサービスについては、現行相当の訪問介護・通所介護の受け皿を確保した上で、多様なサービスを構築していく考えであり、今後、設置予定の住民、事業者など



との協議体の検討を基に、サービスメニューを構築していきたい。

討 論

【反対】 安倍政権が強化した医療・介護総合

法は、強引に病床を削減し重度の患者まで在宅や介護に追いやるもの。社会保障を本人と家族の責任においやり『介護の社会化』という理想も投げ捨て、生存権を否定するもの。国家的な詐欺を進めているとしか言いようがない。

国はさらに要介護1、2の人からも、給付を取り上げようとしている。増加する給付費は、国に負担を求め、町として一般財源を投入しなくても保険料、利用料を抑制し、お金の心配なく安心できる介護保険制度を求め反対する。

【賛成】 適正な保険給付に努めており、保険料の徴収、保険給付実

績に基づく国、府、支払基金、町の負担割合による歳入についても適切に行われている。

また、地域支援事業についても、介護予防事業、包括的支援事業等も積極的に展開されており、一定の評価ができる。

今後、認定者の増加に伴い、保険給付費の増大が見込まれることから、引き続き、介護事業の運営が健全かつ円滑に行われるよう適正な保険給付に努めることを要望し賛成する。

後期高齢者

質 疑

問 1人あたりの保険料や、短期証の発行状況は。

答 一人あたりの保険料は、7万9千824円。短期証の発行件数は、5件。

討 論

【反対】 75歳以上の人口と医療費が増えれば、保険料にはね返る高齢者いじめの制度。大多数が減免を受けている高齢者なのに安倍政権は、最大9割保険料軽減している特例措置を廃止し、2〜10倍の負担増を強い、所得の少ない高齢者の医療費を2割に引き上げようとまでしている。安心して命と健康を守ることができる制度の確立を求め反対する。

水道事業

質 疑

問 広域水道企業団への移行後の予算・決算審議はどうなるのか。

答 29年度当初予算の審議は、広域水道企業団議会で、28年度決算は、町議会での審議となる。

問 余剰金や黒字があるのであれば、住民への還元として料金を下げることができないのか。

答 施設の更新費用や耐震化費用など、今後の更新費用に充てていく必要がある。

補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計	1億4087万8千円	51億687万3千円
国 民 健 康 保 険	1976万3千円	18億7401万8千円
介 護 保 険	3768万5千円	11億9301万8千円

質 疑

問 学校施設環境改善交付金の採択や地方債に対する地方交付税措置はどうなっているのか。

答 府内の団体では、耐震補強や学校統合関連の事業が一部採択されており、エアコン、トイレを含む大規模改修は不採択となっている状況。

また地方債は、緊急防災対策として交付税措置がある。

問 社会保障・税番号制度システム整備費の内容は。

答 来年7月からのマイナンバー団体間情報連携のスタートに向けて、10月からシステムの全般的な運用テストを実施するため、その整備費用を計上しており、本町は11月から12月にかけて、実施する予定。

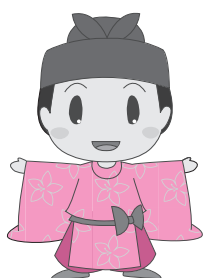
●一般会計補正

【内容】

- ・社会保障・税番号制度システム整備委託料 515万6千円
- ・庁舎維持管理事業 1339万2千円 など



いつまでも健康に「ぐんぐん体操」

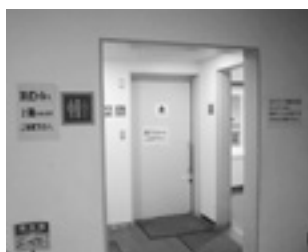


問 庁舎トイレ改修工事の内容は。

答 1階の男女トイレを洋式化、ウォッシュレットの設置、床を衛生的な乾式シートに改修するもの。設計で2か月、工事で3か月を見込んでいる。

問 今後の公共施設などのトイレ整備は。

答 学校施設を優先しつつ、公共施設等総合管理計画により、優先順位を付けて、計画的に実施していく。



1階トイレ洋式化に改修へ

選任同意

●監査委員の選任について同意を求める件

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

池端 繁治氏

【任期】平成28年9月22日～32年9月21日

●固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

任期満了に伴い全会一致で選任に同意しました。

大内 寿和氏

【任期】平成28年9月29日～31年9月28日

その他

●広報特別委員会設置に関する決議

（議員提案）

【内容】地方自治法第109条及び太子町議会委員会条例第5条に基づき広報特別委員会を設置する。

第2回定例会 議決結果一覧表

件 名	審議結果	羽山 茂男	中村 直幸	辻本 馨	村井 浩二	阪口 寛	西田 いく子	寺町 幸雄	森田 忠彦	田中 祐二	建石 良明	山田 強
平成27年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	議長職のため採決に加わらず
平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
平成27年度山田財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度春日財産区特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
平成27年度水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
監査委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広報特別委員会設置に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

各議員の審議結果 ○＝賛成 ●＝反対

9月定例会の一般質問

町政を問う

4人の議員が登壇

この記事については、質問者においてまとめたものです。

人口減少を見据えた自治会・町会への支援を……………	P 10
自治会・町会の財政の格差について……………	P 10
子育て支援について……………	P 11
定住促進について……………	P 11
健康事業の充実を……………	P 11
歴史遺産を活かしたまちづくりを……………	P 11
府の福祉医療助成改悪に反対を……………	P 12
政策としての公共交通を……………	P 12

人口減少を見据えた 自治会・町会への支援を

村井 浩二 議員

問 各自治会・町会の現状は、自治会加入世帯が減少し、特に規模の小さな自治会では負担が増え、役員の担い手もない。このままでは存続もままならない状況となり、規模の大きな自治会と小さな自治会との間で格差が広がり、地域コミュニティの崩壊につながってしまっているのではないかと危惧している。存続が困難な状況に陥った自治会、町会の統廃合を促し、住民負担を軽減させつつ自治会・町会を安定運営していく考えはないのか。

会・自治会のあり方については会員の総意に基づき、それぞれが自主的に判断されるべきものであると考えている。

Q自治会・町会の財政の格差について

問 福祉に関する活動、地域で保有する文化財的歴史資産の保存、地域のにぎわいづくりを目的とした事業なども展開されている。しかし、その事業を行うにあたり予算の確保という問題に直面し、運営・存続が困難になっている自治会・町会もあると強く感じている。単独自治会・町会で行われている防災訓練を、隣接自治会・町会で実施していくことで、より多くの住民の皆様の参加が見込め、周辺地域や隣接自治会・町会との連携、更には、連

合体で実施することにより人的負担の軽減にもつながり、安心・安全なまちづくり、若者の定住に効果が見込まれるにぎわいづくりやお祭りなどを連合体で実施していくことで、本町に対する様々な効果が見込まれる。連合体の自治会・町会で行われる事業・行事について、財政的に地域コミュニティの崩壊に至る前に、連合体で行う公益上の必要性の高い行事に対する補助制度の創設を検討して頂けるよう強く求める。

答 町会・自治会の統廃合についてだが、町会・自治会は、地域住民同士の助け合いや相互理解、親睦、更には福祉向上や良好な地域社会の維持形成を目的に住民同士の自由な意思により結成された組織であることから、町

答 町会・自治会においては、この自治振興費補助金と町会・自治会費や寄付金等を原資に会の運営をされている。町会・自治会の連合体で行われる事業に対する新たな補助制度につきましては公益上の必要性など総合的に判断して参りたい。

子育て支援について

田中 祐一 議員

問 太子町においても、保育施設までの送迎、保育施設の開始前や終了後、また、学校の放課後、その他保護者の病気、休養などによる子どもの預かりの援助を必要とされている方をサポートする制度があればと考える。

既にファミリー・サポート・センターを設置し、事業化されている自治体も増えている。太子町としてこの制度を導入する考えは？

答 ファミリー・サポート・センター事業は、援助を受けたい人と、その子育てを援助したい人がそれぞれ会員となり、互いに子育てを支え合う制度。

今後は更なる子育て支援となるよう、先進自治体の状況などを調査・分析し、本町に合った制度となるよう検討して参りたい。

Q 定住促進について

問 現在は核家族化がより一層進んできており、太子町でも人口は減少しているにもかかわらず、世帯数は増加傾向にある。そこで3世代同居を推進してはと考える。

この3世代同居は、子育て支援だけではなく、祖父母世代の生きがいづくり、孫世代の情操教育の充実、ひいては介護、外出支援にもつながると思う。また、太子町にとつても定住促進に貢献できるものと考えている。

様々な波及効果が期待できる3世代同居に対する支援策を太子町で導入する考えは？

答 3世代同居や近居は、親の介護や孫の子守りなどを通じて少子高齢化対策につながる大変意義のあることだと考えている。

本町においても、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、3世代が生き生きと暮らせるまちづくりをめざし、子育て世代の定住と新たな世帯の転入促進をめざした出産、そして子育て支援及び教育施策を視点に事業を展開することとしており、3世代同居などに対する助成を始め、定住促進などにも効果のある制度創設に向けた準備を進めて参りたい。



7月に開設された
子育て支援課

健康事業の充実を

阪口 寛 議員

問 住民が健康であることは、安心して暮らせるまちづくりに欠かせない。集団健診が再開されたがその評価は、がん検診の充実のため、近隣市町村にならつて、無料化の実施、前立腺がんなど検診科目を増やすべきでないか。

糖尿病予防対策はどのように取り組まれているのか。保健センターで手軽に糖尿病検査はできないか。

答 集団健診は年々受診者が増加し、今年から4日から6日に増やし、定着した事業と評価。がん検診の無料化、現在実施しているがん検診以外の検診について、充実の方策として検討したい。

糖尿病などの生活習慣病の予防対策は、医療費の適正化対策として極めて重要と認識している。『血糖へらそう会』の充実、健診受

診者のうち未治療者の受診勧奨や、課題を分析したい。

Q 歴史遺産を活かしたまちづくりを

問 本町の歴史遺産の件数、管理・保存、活用の取り組みは。とくに、国史跡二子塚古墳は、2個の墳丘がつながった非常に珍しい古墳で、土地の言い伝えでは推古陵と言われている。昨年、保存管理計画が策定され、今年度、国の補助もあり、調査がされている。

今後、史跡公園に整備し、観光資源とし、景観を守りつつ、まちづくりに活かすべきではないか。

答 国の重要文化財の叡福寺の聖霊殿など、指定遺跡は鹿谷寺跡などがあり、国指定文化財は12件、大阪府指定文化財は14件ある。資

料作成しつつ、歴史ウォークや企画展、歴史講座などの事業を進めている。

二子塚古墳は、年々損なわれ、保存の必要性が高まっている。昨年度から考古学などの有識者により検討し、今年度から地中レーダー探査等を行う。平成30年度までに計画を策定し、平成32年度以降に史跡整備を行う。町内外に広く紹介するとともに、貴重な歴史遺産の保存と住民の歴史学習の場としての活用、観光資源としての活用を図りたい。



調査が進む二子塚古墳

府の福祉医療助成改悪に
反対を

西田つく子 議員

問 子どもの貧困が社会問題になる中、大阪府の貧困率は全国ワースト2位。子ども達のためにも、町だけの努力に任せるのではなく、国・府の支援拡充が求められている。

寝屋川市や豊能町、田尻町など高校卒業まで医療費助成を拡充する自治体が現れる中、府は福祉医療費助成制度再構築を議論。府は、精神障害者、難病患者への対象拡大と引き換えに、老人、障害者ひとり親、乳幼児の福祉4医療制度の自己負担額の引き上げを検討。府の必要財源は20〜30億円程度でしかない。府が制度を後退させようと、町独自で子どもの医療費助成を高校卒業まで進める考えは。

答 18歳まで拡充するには628万円見込まれる。子育て支援策は、子ども医療費助成に限

らず、幅広く検討しなければならない。
国・府の動向を見守りながら、太子町に合ったよりよい子育て支援策を検討して参りたい。

Q政策としての公共交通を

問 コンパクトな町、太子町は、知恵を生かせば少ない経費でみなさんが喜べる公共交通を生み出せるのでは。

点在する場所を公共交通でつなぎ、行きたい所に行けてこそみなさんが便利な町を実感し、住み続けることができると思えるのでは。

外出支援事業の3つの柱「予約型乗り合いワゴン車」「買い物便」は実現。「福祉タクシー助成」の検討は。

協議会の設置時期、方向性、調査研究は進んでいるのか。

答 デマンドワゴンが

介護タクシー事業者に与える影響調査、他市町村の同様の取り組みについて研究中。
近隣市町村の聞き取りや先例市の研究、公共交通関連の研究に参加するなど、協議会設置に向けた調査研究中。

要望 住民のみなさんの意見を聞きながら、予約型乗り合いワゴン車の拡充、循環バスをはじめ、太子町の町に合った公共交通の実現を強く求める。



河南町では実証運行中の循環バス

議会のうごき

会派研修

政友クラブ
心誠クラブ

去る9月28、29日と広島県の東部地区に政友クラブ・心誠クラブ合同で視察研修に行きました。
竹原市では、江戸時代後期に製塩や酒造業で栄えたお屋敷や由緒あるお寺の町並みが往時の姿を

そのままに伝える地区を視察しました。ここは伝統的建造物群保存地区として条例制定し整備をされており、当日はまず『町並み保存センター』を訪問して市の紹介ビデオを拝見し概要について説明を受けました。NHKのドラマで話題になったニッカウキスキー創業者竹鶴政孝の竹鶴酒造などもあり、隣接する道の駅とともにまちおこしの取り組みについて研修しました。

次に尾道市のみつぎ子ども図書館『すくすく』を訪ねました。ここはその名前のとおり子どもの利用を第一に考えられた施設で、蔵書は児童書2万2800冊・一般書1万3400冊（平成25年3月現在）であり、館内も書庫が低く作られているなどの工夫がされています。また就学前の児童のためのプレイルームも併設されており、今後、太子町で計画されている図書館に大いに参考になるものでした。

議員の香典・弔電の自粛、挨拶状を廃止しています

太子町議会では、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、町民の皆様への弔事に際しまして議員個人の香典等の自粛、挨拶状の廃止を申し合わせています。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

次の定例会は、
12月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。

日程については、ホームページ、
広報無線でお知らせします。